

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2025年度)

施策コード	36
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	6 防災・危機管理
施策のめざす姿	災害に備え、家族を含め自分自身の身の安全を守る意識が高まり、地域の人々等が協力して助けあう体制や公的機関による救助・援助体制が充実し、市民は安心して生活しています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
災害に対する家庭内の備えができて いる市民の割合(%)【危機管理課】	36.8	—	—	—	—		50.3	63.8

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 危機管理の強化	危機管理課	非常事態に備え、情報提供を行うことができる環境を維持することができた。 引き続き情報提供を行う環境の維持に努める。
2 地域防災力の向上【重点】	危機管理課	自主防災組織と連携した訓練を実施するとともに、自主防災組織への補助金の交付により、地域における防災体制の強化を図ることができた。 自主防災組織との連携をさらに強化するとともに、避難行動要支援者に対する支援体制の充実を図る。また、地域主体の避難所開設体制構築に向け、関係団体等と調整を行う。
3 自助意識の醸成【重点】	危機管理課	家具転倒防止金具及び飛散防止フィルム取付補助により、自助意識の向上に努めた。また、防災教室等の開催により、防災意識の向上を図ることができた。 自助意識の向上に寄与する各種補助制度の充実を図るとともに、防災教室の開催等により、市民の防災意識の向上を図る。
4 防災対策の充実	危機管理課	備蓄食糧及び資機材の計画的なローリングストックやペット避難所開設用の資機材の整備を行った。また、耐震性貯水槽の整備により、災害時の水の確保に努めた。 避難所生活における災害関連死の減少に向け、必要な資機材を整備する。また、誰一人取り残すことなく災害情報を伝達できる環境を構築していく。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	各種補助制度の利用や防災学習、家庭防災の日の啓発などによって、自助意識の向上に向けて取り組んでいる。また、自主防災組織の活動などにより、共助の体制も強化されている。加えて公助として、備蓄食糧や資機材の充実、耐震性貯水槽の整備などにより、計画的に市民が安心できる環境づくりに取り組んでいる。	評価 B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	市民のさらなる自助意識の醸成に向け、引き続き啓発や支援を行っていく。また、共助の体制を強化するため、地域住民による避難所開設・運営に向けた調整など、自主防災組織との連携を強化する。公助の体制としても、備蓄資機材の充実を図るとともに、円滑な災害対応を行うため、訓練の実施やマニュアル整備など、平常時から災害に備えることで、災害に強いまちづくりを総合的に進める。	方針 継続